

紙さんペンさんへ

紙さん、ペンさんいつもお世話になつています。あなた達との付き合いはもう随分と長いけれど初めてこうして手紙を書くことにしました。

私が子どもの頃、あなた達は私とよくお絵描きをして遊んでくれたのを覚えています。あなた達と遊んでいと時間があつたという間に過ぎて留守番だつて平気でした。

学校に入学するとあなた達と過ごす時間がぐんと増えました。宿題、テストと苦勞を共にしてきましたね。

やうやう、日記をこの頃は書いていました。一日の終りにあなた達とその日の事を綴りました。あの日記帳は今も大切に持つています。覚えていますか？あなた達と採来の夢について語り合つた時、私は介護福祉士を目指しました。その夢は実現したんです。今日も頑張つて働いてきました。

辛い、苦しい時もあるけれど強がりな私は

誰かに打ち明けることが出来無いけれど、あ  
 なたに達になら大丈夫なんです。思いのすべて  
 をペンに託し紙にぶちまけるミそれだけで、  
 私の心は軽くなります。時には汚い言葉もあ  
 るけれど、いつだってあなたに達し静かに受け  
 止めてくれる。他人に弱さを見せるのは嫌い  
 な私だけれどあなた達の前では素直になれます。  
 その身を減してまでも頑張ってくれている  
 ペンさん。いつもありがとうございます。

書きたいだけ書き、最後にはクシヤツと丸  
 めてゴミ箱に捨ててしまうことのある紙さん  
 には申し訳無く思います。

けれど、どうかこれからも私のそばに居て  
 下さい。あなた達が大好きです。

知恵子より